

# 平成 24 年度第 4 回北海道入札監視委員会 開催結果

## (委員会次第)

1 開 会

2 報告事項

( 1 ) 平成 24 年度入札契約執行状況 (平成 24 年 12 月末)

( 2 ) その他

3 閉 会

## 平成24年度 第4回北海道入札監視委員会 出席者名簿

委員長	吉岡 征雄
委員	赤 淵 由紀彦
委員	伊勢田 和 幸
委員	大 野 由 夏 (欠席)
委員	蟹 江 俊 仁
委員	柴 口 幹 男

五十音順、敬称略

### 関係各部署出席者

所属	職	氏名
農政部農村振興局事業調整課	課 長	西 山 宰
"	主 幹	富 岡 尊 志
"	主 査	菊 池 祐 二
水産林務部総務課	課 長	佐 藤 寛
"	主 幹	前 田 満 雄
"	主 査	川 瀬 正 博
建設部建設管理局建設情報課	課 長	葛 西 悟
"	主 幹	佐 藤 克 幸
"	主 幹	玉 田 学
"	主 査	高 屋 光 行
"	主 査	有 馬 純 生
建設部建築局計画管理課	課 長	山 崎 雄 二
"	主 幹	玉 田 甲
"	主 査	木 村 剛
出納局総務課	主 幹	川 田 和 明
"	主 査	阿 保 恵 一

### 事務局

所属	職	氏名
総務部行政改革局	次長兼局長	坂 本 和 彦
総務部行政改革局行政改革課	課 長	濱 坂 真 一
"	主 幹	長 谷 山 英 嗣
"	主 査	高 道 智

# 平成24年度第4回北海道入札監視委員会議事録

## 1 開会

### (事務局)

予定の時刻となりましたので、ただいまから、平成24年度第4回入札監視委員会を開催いたします。

本日は、大野委員が欠席されていますが、現時点で委員会設置要綱に定める開催要件を満たしていることを、ご報告させていただきます。

それでは、これからの議事の進行につきまして、吉岡委員長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

## 2 報告事項

### (1) 平成24年度入札契約執行状況(平成24年12月末)

#### (委員長)

それでは、まず、報告事項の1番目「入札契約執行状況」について事務局から説明願います。

#### (事務局)

【事務局から資料1に基づき説明】

#### (委員長)

これについて何かご質問はありませんか。

#### (委員)

資料の2ページ目の発注3部の委託の平均落札率で、水産が際だって落札率が低い結果ですが、落札率76.8%でいくことは23.2%分の利益が業界として確保できているのでしょうか。健全な競争の結果の76.8%なのか。他とは何か違う仕組みが導入されていて、そのような数字で推移しているのか、何か背景があれば教えて欲しい。

#### (水産林務部)

特に他の部とは違った入札方式を取っていません。委託の発注件数が毎年10件程度と少ない状況にあります。

#### (委員長)

件数が少ないというのは、特殊なもので2~3件が極端に落札率が低いものがあるのか、それとも押し並べて低くなっているのか。

#### (水産林務部)

本日は詳しいデータを持っていないが、過去5年間の水産の委託については低い落札率の状況となっている。

**(委員長)**

長年、低い落札率になっているとの説明だが、その状況が続いているのも、不自然といえれば不自然と考える。

例年、水産は低い数字で推移していると認識している。業者の利益があるのかも心配だ。

**(水産林務部)**

一度、調べてみます。

**(委員長)**

質問等はありませんか。

それでは、報告事項の2番目、「その他報告事項」について、農政部から説明願います。

**(農政部)**

1月15日に開催された第3回入札監視委員会において、地域限定型一般競争入札の落札率について振興局の地域間に差があることについて、検証するよう指示がありましたのでその点についてご報告させていただきます。

まず、地域限定型一般競争入札ですが、各振興局管内に本店等を有する資格者を対象に実施し、農政部の場合、簡易な測量業務を実施しています。

配布資料の9ページ目に、農政部関係の3カ年の実績を表示しています。農政部の委託では全道平均落札率としては約90%となっています。

平成24年度においては、石狩・オホーツク・十勝の地域が他の振興局に比べ、2割近く低い数値となっている状況です。

その要因として考えられるものは、地域限定型一般競争入札で実施している業務は現地における測量や境界杭の埋設など比較的簡単な業務であり、これらの経費として係る主なものは人件費であり、その他移動に要する経費や資材費等、これらの経費は管内の業者であるため、比較的少額な業務になります。そのためにある程度は企業努力により経費の節減が可能となると考えます。

二つ目としては、この表の左側にある測量資格者数を見ていただきたいのですが、石狩211者、オホーツク45者、十勝43者と他の振興局に比較して多い業者数があることから、競争が激しくなっているのかと考えられます。

ただ、空知や上川も資格者数が多いのですが、空知では委託全体の件数が他の振興局よりも多い件数が発注されています。振興局でいくと全道の四分の一が空知管内で発注されています。また、上川も多いのですが、宗谷管内も上川の営業地域となっている場合が多いことから、オホーツクや十勝に比べて若干競争が緩やかではないかと思われま

す。

三点目としては、平成22年度から平成24年度までの3カ年で見てみますと、オホーツクや十勝では3カ年とも低い状況、渡島・胆振等も、ある程度業者数が多い地域で

落札率が低くなっています。

以上、明確な要因については申し上げられないが、地域性によって落札率に差が出たのではないかと考えられます。

**(委員長)**

ただ今の説明について、質問等は、ありませんか。

**(委員長)**

測量業者の数は減っていないのか。この低い落札率では持ち応えられないのではないのか。

**(農政部)**

年度別の業者数は用意していませんが、若干は減ってきています。

**(委員長)**

空知の委託の件数が多いが、石狩の業者も入るのか。

**(農政部)**

地域限定型一般競争入札では空知のみです。

**(委員)**

地域限定型を導入している地域と導入していない地域とハッキリしているが、発注者側で特別な配慮を特定の地域に行っているのか。

**(農政部)**

測量の件数については、各振興局の事業量や年度間に応じて異なる。石狩では測量業務があまりありません。

**(委員長)**

空知は何故、件数が多いのか。

**(農政部)**

農業農村整備事業では、水田地帯の工事が一番多いためです。

**(委員)**

地域限定型一般競争入札を切り出して説明してもらったが、そもそも難しいと思う。

そうでない仕組みも併せて考えていかないと、石狩部分の説明が出来ないし、これらの数の業者が2件だけで商売をやっている訳ではなく、他の業務を併せながらやっている訳です。

だから、業者が多いから、事業が少ないからという説明はしなくていいと思います。

要は合わせ技で商売をやっていますので、もしあるとすれば、十勝では一貫して低い率で推

移していていますから、これが当たり前となっていると思います。

例えば、農業農村整備事業が多い地域では有力な業者がいっぱいあって、競争力がある。企業の大小により落札率の違いがあるのではないという気がする。どうも地域限定型一般競争入札を切り出して説明するのには無理があると思います。

測量に関しては総合で判断すべきものと考えます。

**(農政部)**

こうだからこうだという説明は難しいです。

**(委員長)**

測量業務はパターン化されているから、低い落札になることは分かった。

我々から数字だけ見ると何かどこがおかしいと疑問を持つので、その辺を踏まえて、事務局として、業者も困っていないし、道も困っていないし、およそ落ち着いているのではないのでしょうかと、何かあれば良い。もう少し検討しましょう。

全然関係ないが、開発局の測量も相当あるのしょうね。その辺も見ないと、この業界がどの程度競争されているのか。

我々も含めてどうやったら公平な判断ができるか検討しましょう。

以上で、本日の議題は終了しますが、事務局の方から、何かありませんか。

**(事務局)**

それでは、総務部次長兼行政改革局長の坂本より、委員の皆様へご挨拶をさせていただきますと思います。

**(次長兼行政改革局長)**

【挨拶】

**(委員長)**

この委員による委員会は、本日で最後となります。

退任される各委員から、一言ずつ、いただきたいと思います。どうぞ。

**(委員)**

【挨拶】

**(委員)**

【挨拶】

**(委員長)**

それでは、これで本日の委員会を終了いたします。  
お疲れ様でした。

(了)